

平成31年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【特別の教科 道徳】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東 書	<p>(1) 道徳の目標達成のために、各題材の冒頭に考える観点が示され、自分の感じたことや考えを書き込む枠も設けられており、話合いや議論を通して自分の道徳的価値を深められるように配慮している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、題材の冒頭で題材を通してどのようなことについて考えるのかが提示され、生徒が問題意識をもち、主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、実際の事例を扱った題材や自分はどうのようにいじめと向き合っていくのか深く考えさせる3つの題材を組み合わせ、イラストや漫画・読み物などを用いて、差別や偏見をなくすためにどうすればよいか多面的・多角的に考えさせることで主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「考えてみよう」の設定で道徳的価値について気付かせ、「アクション」で役割演技や体験的な学習を通してねらいとする道徳的価値を自分との関わりで深く考えられる工夫が見られる。</p>	<p>1年P38 1年P40 3年P120 3年P122</p> <p>1年P86 3年P110</p> <p>1年P24-34 3年P24-34</p> <p>1年P93 P94-95 3年P131 P132-133</p>
11 学 図	<p>(1) 道徳の目標達成のために、題材をもとにして考え、議論する視点が示され、道徳的価値に焦点化した資料と関連させて学ぶことで自分自身の道徳的価値に気付き、深められるように配慮している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、主題についての発問とともに、価値や見方を広げたり自分のこととして考える発問を示したりすることで、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、正しく判断していじめを起こさず、いじめを許さない断固たる心情を育てるのに適した題材と、いじめ問題に正対して取り組むためにいじめを直接扱った2つの題材を用い、よりよい人間関係はどのようにあればよいか考えさせることで主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「学びに向かうために」で題材を通して多面的・多角的に考えを深めさせ、道徳的価値に焦点化した「心の扉」を関連させることで道徳的価値についての理解を深められる工夫が見られる。</p>	<p>1年 P130-131 3年 P40-41</p> <p>1年P47 3年P128</p> <p>1年 P214-218 1年 P150-153 3年 P100-107 3年 P92-97</p> <p>1年 P182-183 3年 P92-93</p>

発行者	総評	備考
17 教 出	<p>(1) 道德の目標達成のために、新聞記事やグラフ等を取り上げて議論したり、役割演技等の体験的な活動を通して話し合ったりする事で、日常生活の中での道德的実践意欲や態度の育成に結びつけるように配慮している。</p> <p>(2) 道德性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、異なる立場からの考えを取り上げた読み物の題材や実際の調査に基づいた資料等をもとに自分の立場や考えを明確にさせ、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、いじめを直接的に扱った題材や、いじめを許さない心を育む題材を3年間で体系的に考え、深めていくように掲載し、自他の命を尊び、他者とよりよい関係をつくっていくためには、どのような行動をとればよいか考えさせることで主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「やってみよう」で役割演技や体験的な学習を通して相手の立場に立って物事を考え、道德的価値の理解を生活の中での行為や習慣に結びつけて考えられる工夫が見られる。</p>	<p>1年P64-67 3年P18 3年P88</p> <p>1年P82, P85 3年P10, P17</p> <p>1年P96-99 3年P88-91</p> <p>1年P38-45 3年P34-39</p> <p>1年P77 3年P95</p>
38 光 村	<p>(1) 道德の目標達成のために、様々な視点から生命の尊さについて考える題材や小学校での題材を取り上げる等、自分の考えに気付かせ、発達段階に合わせて道德的価値の理解を深めるように配慮している。</p> <p>(2) 道德性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、「学びのテーマ」の中で自分自身や、他者の立場から考えることができる「考える観点」や「見方を変えて」の問いを活用し、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、いじめをしない、させない、見過ごさない姿勢を系統的に育成する題材と、「いじめについて考える」というテーマのコラムにより体験的な学習として他者とよりよい関係を築くための望ましい行動について考え、議論させることで、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「学びのテーマ」でめあてを意識させ、「私の気づき」で感じたことや考えたことを書かせることで学んだことを深く考えたり、行動につなげたりして自身の変容を実感できる工夫が見られる。</p>	<p>1年P92-97 P212-215 3年P24-27 P214-217</p> <p>1年P35 3年P107</p> <p>1年P60-62 3年P52-56</p> <p>1年P64-65 3年P58-59</p> <p>1年 P178 3年 P74</p>

発行者	総 評	
116 日 文	<p>(1) 道德の目標達成のために、キャリア教育の視点から特に深める道德的価値を学年のテーマに設定し、自分の道德的価値の理解に気付かせる視点を示すことで、人間としての生き方を考えるように配慮している。</p> <p>(2) 道德性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、中心発問以外に自分を振り返らせ学んだことを前向きに生かす「自分に+1」の発問や「学習の進め方」を活用して、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、多様な題材やコラムをユニット化して集中的に学習し、いじめについての理解を深め、スキルを身に付けるためのコラムや、いじめについて考え、議論することを投げかける特設のページが設けられ、いじめの未然防止のために多面的・多角的な視点から、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「学習の進め方」で問題解決的、または体験的な学習をさせることで道德的価値をより深く考えさせ、「プラットフォーム」で学習した内容をより多面的・多角的に考えられる工夫が見られる。</p>	<p>表紙裏 全学年P4-5</p> <p>1年P52 1年別冊P9 3年P72 3年別冊P12</p> <p>1年P80-91 3年P40-55</p> <p>1年P28-29 3年P38-39</p> <p>1年P26-27 3年P20-21</p> <p>1年P96-97 3年P90-91</p>
208 学 研	<p>(1) 道德の目標達成のために、題材とは異なる視点から道德的価値について考える資料や、道德的行為に関する体験的な学習につなげる特設の資料により、自己と向き合い、自己理解を深めるように配慮している。</p> <p>(2) 道德性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、あえて主題を示さないことにより生徒自身に問題意識をもたせ、道德的価値を他者とともに考える発問を示すことで、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、「いじめをなくすために」というテーマで題材が示され、いじめを生まない力を引き出し、育てるために、生活に身近な内容で直接的に考えたり、特設ページによって、様々な面からいじめについて深く考え、議論させる活動へつなげるなど、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「特設ページ」で役割演技や話し合い活動を通して道德的行為について具体的に考えさせ、主体的に自己の生き方についての考えを広げ、深めるような工夫が見られる。</p>	<p>1年P45 3年P39 1年P151 3年P13</p> <p>1年P72 1年P75 3年P118 3年P120</p> <p>全学年P8</p> <p>1年P27 3年P59</p> <p>1年 P121 3年 P33</p>

発行者	総 評	
232 廣あかつき	<p>(1) 道徳の目標達成のために、題材を通して考えることや本冊と補充資料を含む別冊の相互活用により、自分自身の関わりを見つめ直し、道徳的価値についての理解が深められるように配慮している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、題材全てにめあてを示し主題について考えを深める発問や、道徳的価値のよさを理解し発展させていく資料を示すことで、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、第1学年の「thinking」のページに「してもよい『いじめ』などない」と明確に示し、第2学年では「いじめの構造」から理論的に考え、第3学年では「世界人権宣言」を扱い人権からいじめを考える等、発達段階に応じて様々な角度から、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、めあてとなる学習の手がかりや考え、話し合う視点の提示により学習の見通しをもたせ、自分との関わりから主体的・対話的に考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>全学年P2-3 全学年別冊 表紙裏</p> <p>1年P17 1年別冊P44 3年P52 3年別冊P6</p> <p>1年P41 2年別冊P26 3年別冊P26</p> <p>1年P15 3年P67 1年別冊P51 3年別冊P51</p>
233 日 科	<p>(1) 道徳の目標達成のために、学年間のつながりを重視した題材や他領域にもつながる題材を配置し、発達の段階に応じて人間としてのよりよい生き方について考えを深められるように配慮している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、問題解決的な学習を展開するために、題材からみんなで話し合う視点をみつける発問や、自分自身を振り返り、自分の生き方を考えることにつながる発問により、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。また、いじめ問題については、いじめを許さない心の育成を目指して、生活の中で身近な話題や起こりうる場面など、生徒にとって身近で深く考えられるような題材や、生命を守り、救う題材などを用いて、生命尊重への学びをより深めると共に、生命とは何かについて主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している</p> <p>(3) 利便性の工夫については、考え、話し合う視点を明確に示すことで今の自分を気付かせ、特設された資料から人権や環境など価値観の多様性について考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>1年P68-73 3年P60-65</p> <p>1年P72 3年P78</p> <p>1年 P104-107 3年 P174-177</p> <p>1年 P166-168 3年 P160-163</p> <p>1年 P170-177 3年 P64-69</p>